

# optrel panoramaxx CLT

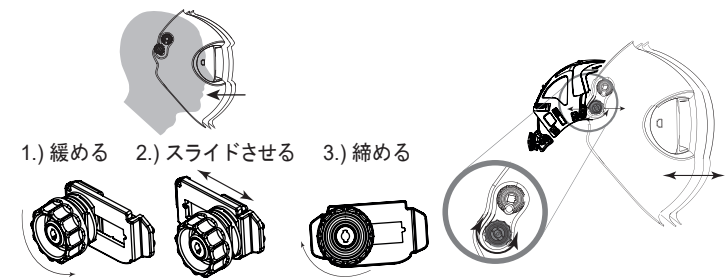
## 自動遮光溶接面

### <取扱説明書>

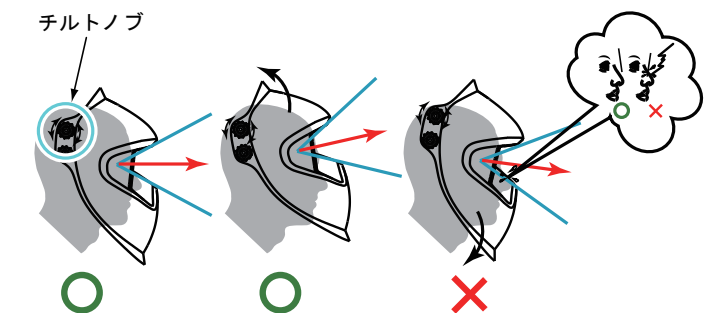
#### 重要

- ・6か月おきにフル充電することをお勧めします。
- ・当製品は自動遮光フィルター部分の交換ができません。遮光面に対する強い衝撃やねじれは破損の原因となる可能性がありますので、ご注意ください。
- ・Micro USB ポートから USB ケーブルを無理やり引き抜くと、充電不良の原因となる可能性がありますので、ご注意ください。

- ・面の距離調節（前後）  
左右のロックノブを緩めて自動遮光フィルターと目の距離を調節してください。この際自動遮光フィルターと目の距離をできるだけ近づける事で、装着時により広い視野を確保できます。左右均等に調節ができたなら左右のロックノブを締めて面を固定してください。



- ・面の角度調節（上下）  
右のロックノブ上に位置するチルトノブを回して、面の角度を調節してください。（角度の調整は、遮光面が鼻に当たらないように行います。うなずく動作をしても面が鼻に当たらないことを確認してください。）付属のノーズパッドで鼻の周囲を保護する事を忘れずに行ってください。



はじめに  
このたびは本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。  
本製品をご使用になる前に必ず本取扱説明書をお読みいただき、正しくご使用ください。

#### I. 安全に関するお願い

- ・本製品を用いて使用者を保護するためには、本製品の機能範囲への十分な理解、適切に使用するためのトレーニング、および危険を未然に防ぐための点検やメンテナンスがとても重要です。ご使用に際して本取扱説明書の記載内容に従わずに発生したあらゆるトラブル、事故に関しては一切の責任を負いません。
- ・溶接作業では、目および皮膚の負傷の原因となる熱と光線が放出されます。毎回の作業の前に、自動遮光溶接面を注意深く点検してください。パーツの割れやヒビは、製品が持つ本来の保護性能を著しく低下させます。破損があるパーツはすぐに交換してください。自動遮光フィルターの動作に不具合がある場合は、直ちに使用を中止し、本取扱説明書に従ってトラブルシューティングを行ってください。
- ・本製品は溶接作業及び研磨作業以外の用途に使用する事はできません。また、レーザー溶接/切断用保護面として使用することはできません。本製品を使用目的範囲外で使用した場合、永久的な目の障害を負う可能性があります。

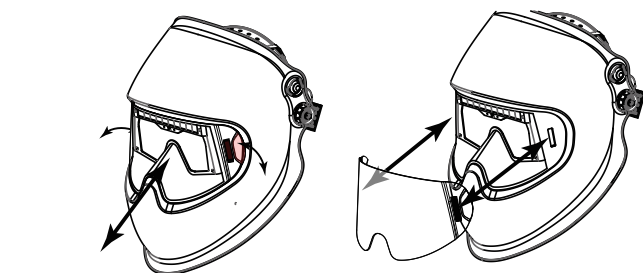
#### II. 自動遮光フィルターの自動 ON/OFF（スリープモード）

本製品には、蓄電池の耐用期間を長くするため自動スイッチ ON/OFF（スリープモード）機能を備えています。自動遮光フィルター上部にあるソーラーパネル（太陽電池）1ルクス未満の光しか当たらない場所で約10分間置くと自動遮光フィルターは、自動 OFF になります。

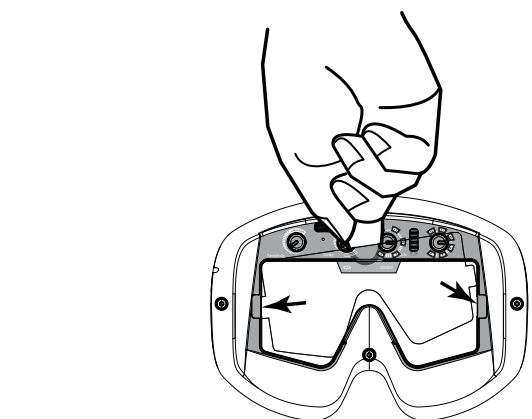
#### III. 保証と法的責任

保証は部品欠陥もしくは製造欠陥に限り適用されます。本製品を使用目的範囲外で使用した場合、本取扱説明書の記載内容に従わずに発生したあらゆるトラブル、事故に対して保証は適用されず、弊社が法的責任を問われることはありません。optrel 純正品以外の交換部品が使用された場合も同様に保証は失効し、弊社が法的責任を問われることはありません。

- ・フロントカバーレンズの交換  
フロントカバーレンズ横のつまみを外側に引き溝から外して引き抜くと取り外せます。取付は逆の手順で行ってください。



- ・内側カバーレンズの交換  
内側カバーレンズの中央上部を指で引き起こします。左右のツメを引き抜きます。取付は、逆の手順で行ってください。



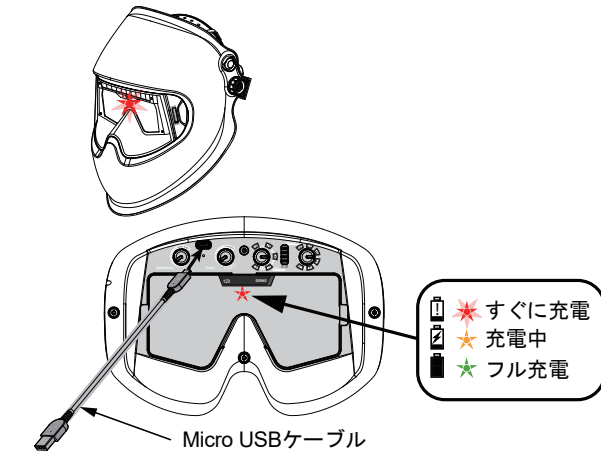
#### IV. 溶接を始める前に

- ・電池の充電  
本製品には、リチウムポリマー (LiPo) 蓄電池を使用しています。初めに使用する前に付属の Micro USB ケーブルで液晶フィルター内側にある MicroUSB ポートと市販の USB ポート (PC のポートや携帯充電用 AC アダプター等) を接続し充電を行ってください。充電が終了したら Micro USB ポートに保護キャップをして埃や汚れから保護してください。蓄電池は、太陽電池によっても外部光源 (室内灯、溶接光等) から充電されます。本製品を頻繁に使用する場合は、充電は必要ありません。

**【注意】6か月おきにフル充電する事をお勧めします。蓄電池が完全放電した場合約15分間充電すると約8時間使用できます。**

充電レベルの見方（自動遮光フィルター中央上部 LED ライト）

- ① 赤色点滅 ……容量はほぼ空です。すぐに充電が必要です。
- ② オレンジ色点滅 ……充電中です。
- ③ 緑色点滅 ……フル充電されています。

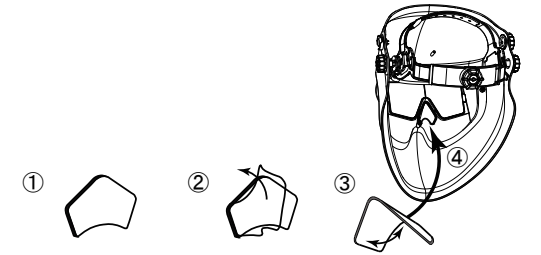


#### V. 各機能の設定

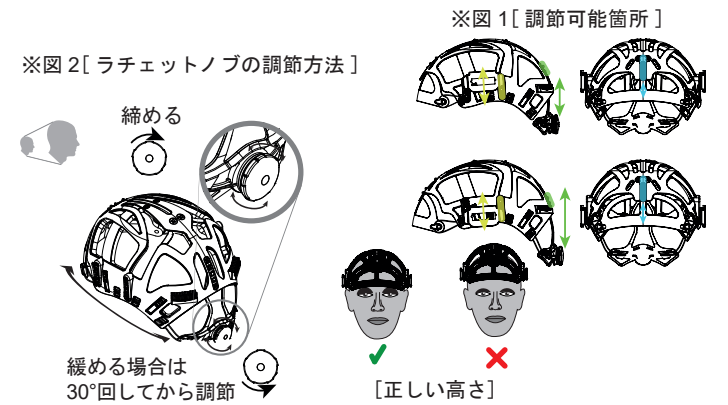
- ・感度の設定  
感度ボタンにより周囲照明感度を調整します。ノブを回すことでこれらを設定することができます。スーパーハイ (supper high) の領域で最大光感度 (supuer high) に設定できます。



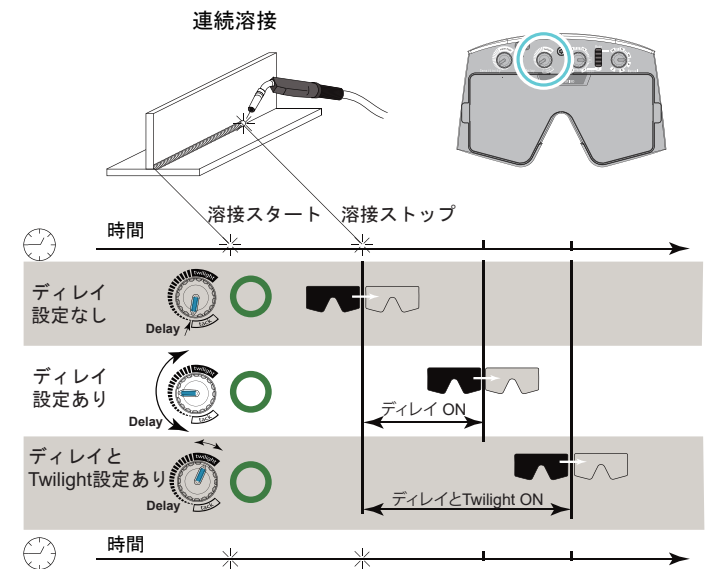
- ・ノーズパッドの取付  
ノーズパッドの台紙をはがし適切な位置に貼り付けてください。



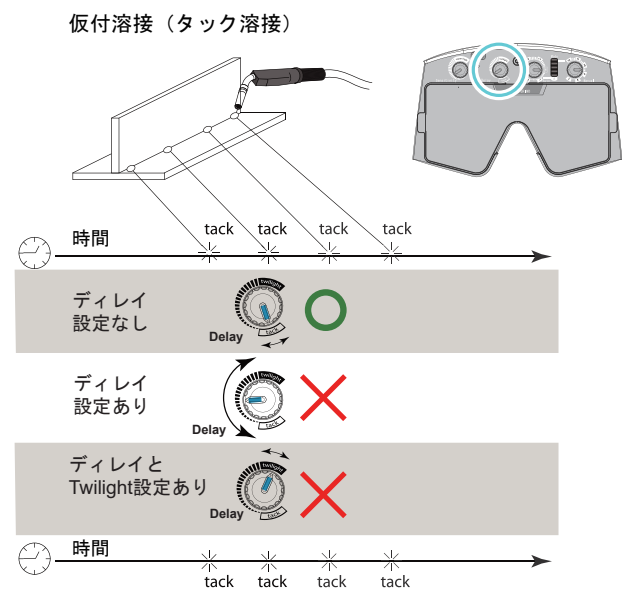
- ・ヘッドバンドの調節  
① 図1の [調節可能箇所] を確認して、各箇所を自分の頭のサイズに合わせて調節してください。  
② 後頭部に位置するラチェットノブを押しながら回してヘッドバンドを頭の周囲サイズにフィットするよう調節してください。（図2を参照）



- ・戻り速度の設定  
① 戻り速度スイッチ (Delay) で、溶接後の暗状態から明状態に戻る速度を設定できます。ロータリーノブで減光効果をオンにして暗から明まで0.1~2.0秒の連続調整ができます。



- ② Twilight を ON にすると暗状態から明状態に滑らかに遮光度が戻るため、Delay 機能より更に目への刺激を和らげます。溶接終了後、母材から強い光が発光している際は Twilight を ON にしてください。  
注意：仮付け溶接（タック溶接）をする際は、Delay や Twilight 機能は使用せず、Tack モードに設定してください。



8

## VII. 保管方法

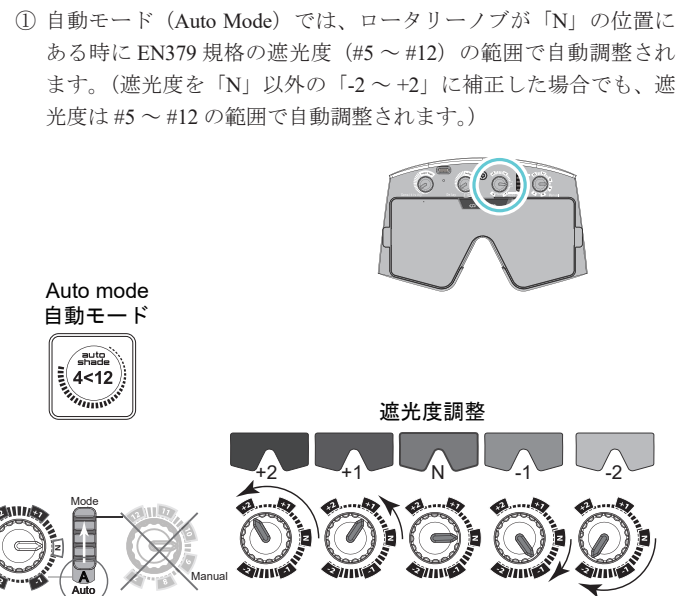
遮光面は、できるだけ湿度の低い場所で保管してください。蓄電池の耐用期間を延ばすにはヘルメットを明るい場所で保管してください。

## VIII. トラブルシューティング

- 自動遮光フィルターが暗くならない場合
  - 感度を適切に調整します。
  - センサーおよびアタッチメントガラスを清掃します。
  - 研磨モードを非作動にします。
  - 戻り速度機能をオフにします。（タック（tack）に切替えます。）
  - 蓄電池を充電します。
- 保護レベルが明るすぎる場合
  - 手動モード（Manual mode）で保護レベルを高くします。
  - 自動モード（Auto mode）で+1 または+2 に設定します。
  - アタッチメントガラスを交換します。
- 保護レベルが暗すぎる場合
  - 手動モード（Manual mode）で保護レベルを高くします。
  - 自動モード（Auto mode）で-1 または-2 に設定します。
- 自動遮光フィルターがちらつく場合
  - 溶接手順で戻り速度スイッチ（Delay）の位置を調整します。
  - 感度コントローラを実際の溶接作業に適合させます。
  - 蓄電池を充電します。
- 視界がよくない
  - フロントおよび内側カバーレンズ、フィルターを清掃します。
  - 手動モードで保護レベルを実際の溶接作業に適合させます。
  - 自動モードで保護レベル補正機能を実際の溶接作業に適合させます。
  - 周囲の照明を明るくします。
- 遮光面が固定されない、または落ちてくる。
  - ヘッドバンドを調整します。

12

- 自動（Auto mode）及び手動（Manual mode）モード  
自動（Auto mode）及び手動（Manual mode）モードスライドスイッチにより、遮光度調整方法を選択することができます。自動モード（Auto mode）では、保護レベルはセンサーにより自動的にアークの強度に合わせて調整されます。（規格 EN 379:2003）。手動モード（Manual mode）では、ロータリーノブを回して遮光度調整をします。



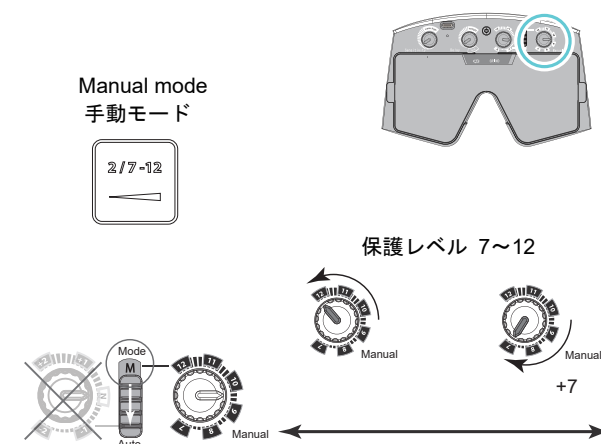
9

## IX. テクニカルデータ

遮光度	Auto mode 2.0（明状態） 4<12（暗状態）
紫外線 / 赤外線保護	明状態および暗状態での永続的な保護
遮光速度（明→暗）	1/10,000 秒（23℃時） 1/10,000 秒（55℃時）
戻り速度（暗→明）	0.1～2.0 秒（FadeTronic 使用時）
電源供給方法	ソーラー電池、リチウムポリマー蓄電池
重量	シルバー：610 g / ブラック：600g
作動温度	-10℃～55℃
保管温度	-20℃～70℃
目の保護規格	EN379 光学クラス：1 散光：1 均質性：1 角度依存度：2
顔面の保護規格	EN175 B（ヘルメットシェル）
国際基準	CE、ANSI、EAC、AS/NZS、CSA Z94.3 に準拠

13

- ② 手動モード（Manual Mode）では、ロータリーノブ「Manual」を回して遮光度（#7～#12）を調整してください。



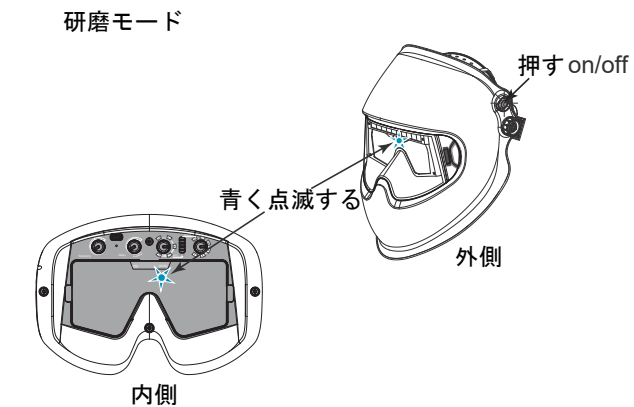
10

## X. 交換部品リスト

名称	型番
① フロントカバーレンズクリア（5枚入り）	5000.270
② ノーズパッド（2個入り）	5003.600
③ インナーカバーレンズクリア（5枚入り）	5000.010
④ 拡大レンズ 1.0	5000.150
拡大レンズ 1.5	5000.151
拡大レンズ 2.0	5000.152
拡大レンズ 2.5	5000.153
⑤ IsoFit ヘッドギア black knob optrel	5003.290
IsoFit ヘッドギア gray knob optrel	5003.292
⑥ IsoFit ヘッドギアリプレイスメントパッド(5個入り)	5004.290
⑦ ヘッド&ネックプロテクション 革製	4028.016
チェストプロテクション 革製	4028.015

14

- 研磨モードの設定  
研磨モードボタンを押すと自動遮光フィルターは、研磨モードになります。研磨モードの時、自動遮光フィルターは 10 分間明状態にとどまります。このモードが有効な時、外側の LED ランプが青く点滅し、内側ではヘルメットフェースシールドに反射するのでわかります。研磨モードをオフにするには、研磨モードボタンを再度押します。



## VI. 清掃方法

自動遮光フィルターおよびアタッチメントガラスは、定期的に柔らかい布で清掃してください。強力洗剤、溶剤、アルコールもしくは研磨剤を含有する洗浄剤は使用しないでください。（傷の入ったレンズや損傷したレンズは、交換してください。）

11

製造：  
optrel AG  
industriestrasse 2 CH-9630 wattwil Switzerland

販売：  
ラメール株式会社  
〒143-0006  
東京都大田区平和島 6-1-1 東京流通センターセンタービル 814  
TEL: 03-5753-4822 FAX: 03-5753-4833  
Email: sales@lamerco.com  
URL: https://www.lamerco.com

12

13

14